

**米国超短期海外派遣プログラム (米国 スタンフォード・シアトル)  
募集要項 (学科長推薦)**

**募集概要：**

本プログラムはグローバル理工人育成コースの一環として実施されます。本プログラムへの参加は、コースの単位が付与されます(注1)。

スタンフォード大学およびワシントン大学における講義受講(英語)、研究室訪問、学生交流、シリコンバレーとシアトル周辺の企業訪問等が予定されています(詳細は添付スケジュール参照)。本プログラムの参加者を下記の通り募集致します。

**【派遣先】** 米国 スタンフォード・シアトル

**【渡航期間】** 2015年 2月18日(水)～3月2日(月)(11泊13日、1機中泊)

**【費用】** 約25万円(航空券代、燃料サーチャージ、空港税、現地宿泊費)

\*現地での諸経費(ビザ代、食費、交通費、学生交流に係る費用等)は上記の費用には含まれません。

\*また、大学の指定する海外旅行保険(保険会社は原則として、AIUになります。)に加入してください。

**【旅費支援】**

本プログラムは、独立行政法人日本学生支援機構(JASSO)の奨学金(日本人学生)、東京工業大学130年基金(留学生)対象です。一定の基準<sup>(注2)</sup>を満たした学生には旅費として8万円が支給される場合があります。(別途書類の提出が必要です。必要書類については、選考後の【オリエンテーション1】にて説明されます。) \*学内規定により国費留学生には奨学金の支給はありません。

**【応募資格】**

- 1) 東工大正規学生(学部生)。国籍・性別・学年・学科等は不問。
- 2) 現地で英語授業を聴講する程度の語学力を有していることが望ましい。

なお、応募者多数の場合には、グローバル理工人育成コースに所属し関連の活動(コース登録科目の履修、ポートフォリオの作成等(注3))を行っている学生を優先し、また、TOEICのスコアを考慮に入れて選抜する場合があります。

**【応募方法】** 添付の申請書を支援室宛てに提出して下さい。

**【募集人数】** 10名

**【選考方法】** 書類審査及び面接

**【応募締切】** 2014年 11月27日(木)

\*応募に際しては、申請書類に類主任または学科長の推薦を必ず得て下さい。

**【面接予定日】** 2014年 12月3日(水)、12月4日(木)

**【事前・事後研修】**

本プログラム参加者は、単位付与の一環として、下記の事前事後学習への参加が義務付けられます。

2014年12月10日(水) オリエンテーション1: 渡航前オリエンテーション、書類手続きその他

2014年12月17日(水) オリエンテーション2・事前学習1: 書類提出・参加者マニュアル説明等

2015年1月14日(水) 事前学習2: 現地訪問先についての参加者によるブリーフィング等

2015年2月16日(月) 事前学習3: 出発前の確認、訪問国出身者によるブリーフィング

2015年4月22日(水): 合同報告会@留学フェア(代表者のみ)

2015年5月: 個別報告会

(注1)

1. 1年生および下記2.に当てはまらない2年生の参加については、「グローバル理工人研修入門1A」の単位が付与されま  
す(1単位)。(この場合、実践型海外派遣プログラムの単位とはなりません。)
2. 下記の条件を満たす2年生の参加については、「グローバル理工人研修1A」の単位が付与されます。  
2年生後学期終了時点で、
  - 1) 国際意識醸成プログラム3単位を修得済。
  - 2) 英語力・コミュニケーション力強化プログラムを4単位以上修得済。
  - 3) 科学技術を用いた国際協力実践プログラムを4単位以上を修得済。
3. 3年生および下記の条件を満たす4年生の参加については、「グローバル理工人研修1A又は1B」の単位が付与されます。
  - 1) 当該海外派遣プログラムによる得られる単位の有無にかかわらず、卒業できる見込みがある。
  - 2) 卒業あるいは大学院進学認定に必要な手続きに支障を及ぼさない。
4. 上記にかかわらず、「グローバル理工人研修」等の科目ではなく、所属学科の科目による単位付与が行われる場合があります。

(注2)

1. 日本国籍を有する者または日本への永住権のある者(独立行政法人日本学生支援機構(JASSO))  
国費以外の留学生(東京工業大学130年基金)
2. 前年度の成績評価係数が2.30以上(JASSO規定の計算式に基づく)であること➡学業成績書で確認する。  
下記の表により「成績評価ポイント」に換算し、計算式に当てはめて算出(小数点第3位を四捨五入)

成績評価	100～80点	79～70点	69～60点	59点以下
成績評価ポイント	3	2	1	0

(計算式)

(「評価ポイント3の単位数」×3)+(「評価ポイント2の単位数」×2)+(「評価ポイント1の単位数」×1)+(「評  
価ポイント0の単位数」×0) / 総登録単位数

3. 経済的理由により、自費のみでの派遣プログラムへの参加が困難な者  
(原則として家計基準に合致する者)➡申立書を根拠とする。
4. 派遣プログラム参加にあたり、他団体から奨学金を受ける場合、他団体等からの奨学金の支給月額が本制度による支給  
金額を超えない者

(注2)

グローバル理工人育成コースの所属・修了等の詳細については、以下のURLをご覧ください。

<http://www.ghrd.titech.ac.jp/w/>

#### 【申請書提出・問い合わせ先】

グローバル人材育成推進支援室

メールボックス：S6-13

大岡山南6号館4階402号室

電話：03-5734-3121 (担当：横倉、田家(たや)) e-mail: [ghrd.info@jim.titech.ac.jp](mailto:ghrd.info@jim.titech.ac.jp)

## 平成26度米国超短期派遣日程案

注：訪問内容は現地の都合により一部変更になることがあります。

Date		行動予定	訪問内容	宿泊
	2月18日 (水)	成田発—サンフランシスコ着 サンフランシスコ—スタンフォード陸路移動	キャンパスツアー	スタンフォード
Day 1	2月19日 (木)	スタンフォード大学訪問	1. キャンパスツアー 2. 講義体験 3. 学生交流 4. 研究室訪問	スタンフォード
Day 2	2月20日 (金)			スタンフォード
Day 3	2月21日 (土)	サンフランシスコ市内 スタンフォード郊外の見学	サンフランシスコ観光 シリコンバレーIT博物館など訪問	スタンフォード
Day 4	2月22日 (日)	同上	同上	スタンフォード
Day 5	2月23日 (月)	周辺企業訪問	シリコンバレーのIT関連企業、ベンチャー企業	スタンフォード
Day 6	2月24日 (火)	スタンフォード—サンフランシスコ陸路移動 サンフランシスコ発—シアトル着		シアトル
Day 7	2月25日 (水)	ワシントン大学訪問	1. キャンパスツアー 2. 講義体験 3. 学生交流 4. 研究室訪問	シアトル
Day 8	2月26日 (木)			シアトル
Day 9	2月27日 (金)	周辺企業・施設訪問	ボーイング社、ベンチャー企業	シアトル
	2月28日 (土)	シアトル市内、郊外	シアトル市内博物館訪問、観光	シアトル
	3月1日 (日)	シアトル発		機内泊
	3月2日 (月)	成田着		